

2023

6

June
No. 364

広報

三島み

令和5年度 三島小学校大運動会

運動会スローガン

「三島っ子 全力・努力・協力 3つの力でがんばろう」

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

この度、町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支援をいただき、当選させていただきました。矢澤源成です。

おそらく県内では一番先に導入しました、地区担当職員制度を核とした地区振興計画の樹立を「町民の皆様にと寄り添った町づくり」を理念として、その計画を町の振興計画に取り入れ現在に至っています。

「山村の思想」の推進という大きな理念を旗印に、歴史のなかに埋もれる町民の皆様への心の叫びや、歴代の町長や職員の皆様が苦勞して築き上げた素晴らしい山村の思想である「町づくりの理念」を再考

することが大事であると考えています。

三島町を訪れる多くの大学の先生やジャーナリストの皆様が口々にするのは、三島町は半世紀も前に「ふるさと運動」や「生活工芸運動」、「1地区1プライド運動」、「健康づくり運動」、「有機農業運動」を展開してきたのかと驚いています。

これらの5つの運動は、今の時代に求められている「過疎山村に必要な運動」であると言われます。50年前に、時代を先取りした運動と私も思いますが、しかしながら、現代にどの様にこれらの運動を構築して行くのが、今問われています。

これらの運動の底流に流れる理念の記述は紙面の都合上省

きますが、一貫してぶれることなく、関係性のある運動である事は確かです。表紙を変える事は簡単ですが、これらの言葉に多くの町民の皆様の魂があると感じ、大事な三島の宝であると確信しています。

これらの運動の理念を大事にしなが、町づくりに取り組みます。3期目となる町政を担うことになり、改めてその責任の重さを実感し、身の引き締まる思いでもあり、決意を新たにしています。町民の皆様が安心して暮らせる町づくりの実現に向けて、職員と一丸となって全力で取り組

んで参ります。町民の皆様には、今後ともご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。



▲ 就任日の5月17日に初登頂し、職員から花束を受け取る矢澤町長

矢澤町長が取り組む3期目のまちづくり

I 結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

進学・就職に伴う若者の流出を背景に、交流・出会いの機会が減少しているとともに、晩婚化による出生率の低下が少子化の要因となっています。また、少子化に伴う子育て環境を懸念し、町外に転出する例も見受けられます。このため、若者を中心とした世代間の交流・出会いによる新たな可能性の創出とともに、安全・安心な出産や子育てへの支援、共働き世帯が育児と仕事を両立しやすい環境づくりを進め、住み続けたいまちの実現を目指します。

II 地域資源を生かしたしごとをつくる

昭和41(1966)年をピークに278社あった町内の事業所数は、産業構造の変化に伴う企業の撤退、事業縮小により、平成18(2006)年に164社となり、さらに平成28(2016)年には90社まで減少しています。事業所の減少に伴い、雇用及び雇用者報酬の減少、商店の売り上げ減少など町内経済循環の先細りにより、さらなる人口減少が進む負の連鎖となっています。このため、地場産業の振興による雇用の創出並びに再生可能エネルギーや農商工連携による地域経済の循環に取組み、地域資源を生かしたしごとをつくります。

III 交流人口から関係人口・定住人口につながる流れをつくる

進学や就職等の転出に伴う社会減が止まらない一方で、田園回帰の潮流やテレワークの普及により首都圏に居住する住民の農山村への関心が高まっています。このため、農山村固有の文化や自然と共生した豊かな生活などの情報発信とともに、観光誘客の取組みによる交流人口の増加策の展開、空き家等の活用等による住環境の整備を図り、交流人口の拡大と定住推進により人の流れを創出し、地域の活力向上につなげていきます。

IV 生涯いきいきと過ごせる魅力ある地域をつくる

平成27(2015)年の国勢調査において、当町は人口減少率13.4%となり、県下でも最も過疎化が進んでいる状況にあり、地域活力を創出し、コミュニティの維持を図ることが重要課題となっています。このため、集落に息づく貴重で魅力あふれる地域資源の有効な活用を図るとともに、すべての町民がいきいきと過ごせるための健康づくりを推進し、生涯活躍の元気な町づくりを進めていきます。

元気いっぱい！笑顔いっぱい！ 令和5年度 三島小学校大運動会

5月20日に、三島小学校の校庭において令和5年度三島小学校大運動会が実施されました。

天気が心配されましたが、一年生が作った大きなてくてく坊主が前日の雨を吹き飛ばし、心地よい晴れ空のもと実施することができました。

児童たちは、各種競技に精一杯に取り組み、お友達を大きな声で応援しました。応援に訪れた保護者の皆さんや地域の皆さんも児童たちの元気いっぱいの姿に、笑顔で声援を送りました。



鼓笛演奏



80メートル走



1年生が作ったてくてく坊主



チャンス走



応援合戦



三島小全校リレー



全校つな引き



矢澤町長の号砲でウォーキングスタート！

スタート時の様子



只見川の景色を楽しみながらウォーキング



楽しみながら歩く参加者



会津地鶏コロッケと三島特産汁のおふるまい

過去最多の400人が参加 晴天の中新緑を満喫 桐の里ウォーク2023

今年で6回目となった「桐の里ウォーク2023」が5月13日に開催されました。町内外から過去最多の約400人が参加し、開会式では矢澤町長から「三島の健康づくりは、平成27年から健康寿命を10歳伸ばす健康寿命プラス10を目標に始まりました。運動することと食べることは大切ですが、様々な人と交流することも長生きの秘訣だと考えております。今日は三島の藤の花や桐の花を楽しみ、リフレッシュしていただきたい。」とあいさつを述べました。

交流センター山びこをスタートし名人、宮下、川井地区を経由する約8キロのコースで暖かな日差しのもと、参加者の皆さんは思い思いのペースで歩いていました。

コースの途中には、町観光協会やサンプソンの皆さんによるおもてなしが行われました。

ゴール後は、お楽しみ抽選会や三島特産汁、会津地鶏を使ったクリームコロッケなどがふるまわれ、癒しのひとときになりました。

来年も多くの皆さんの参加をお待ちしています。

「ひやっかせいほう 日本のかめんぷ」

浅見晃司さん（名入）の作品展

5月3日から交流センター山びこでは浅見晃司さん（名入）の作品展「ひやっかせいほう 日本のかめんぷ」を開催しており、浅見さんが制作した日本でつくられてきた仮面の「写シ」が展示されています（※）。仮面は八世紀の伎楽や舞楽に使用されたものや、その後平安時代・鎌倉時代に仏教儀式や民俗芸能において使用されたもの、室町時代に確立された申楽から発展した能や狂言に使用されたもの、そして制作者が創作したものを合わせ、161点を展示しています（他に創作木彫品あり）。開催初日となる5月3日は、観世流シテ方の津村禮次郎氏（国指定重要無形文化財「能楽」保持者）をお招きして講演や舞を披露いただき、翌4日は浅見さんによる展示解説会が行われました。会期は、6月25日までとなっております。皆様のご来場をお待ちしています。

※「写シ」とはオリジナルの仮面を忠実に再現した複製品のこと。



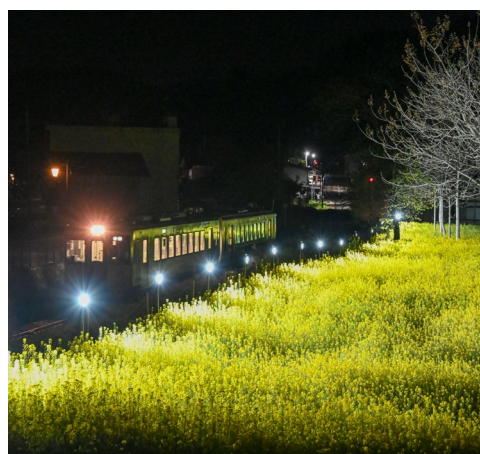
▲津村禮次郎さんによる舞の様子



▲浅見晃司さんによる展示解説会の様子

光輝く黄色の絨毯 菜の花畑ライトアップ

町は、地方創生推進交付金を活用した地域活性化事業として、5月3日から7日と5月12日から14日にかけて、三島小学校前、只見線線路沿い菜の花畑ライトアップを実施しました。地元のNPO法人「まちづくりみしま」が大切に育ててきた菜の花畑にスポットを当て、只見線を利用されているお客様にも楽しんでいただくという企画です。実施期間中は、福島日産自動車様にご協力いただき、電気自動車を活用して電源供給し、ライトアップが行われました（詳しくはP14をご覧ください）。ライトに照らされた菜の花畑は、日中の温かな雰囲気とは違い、黄色の絨毯が暗闇に浮かんでいるようでした。見を訪れたお客様は「想像していたよりきれいだった」と述べ、感動しているようでした。



▲只見線とライトアップされた菜の花畑の様子

広報みしま

皆さんに親しまれる広報誌を！

町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが大切と考えています。皆さんに親しまれる広報誌を目指して情報発信に努めますので、地区での出来事や取り組みなどの情報を同地区内の町民記者、または、町へお寄せください。

●役場 地域政策課 地域政策係 ☎ (48) 5533



交通事故死亡者ゼロ 5,000 日達成！ 福島県交通対策協議会長表彰を受賞

町は、令和5年5月9日に交通事故死亡者ゼロ5,000日を達成し、福島県交通対策協議会長表彰を受賞しました。5月12日に、会津地方交通対策協議会の本田伸雄会長（会津地方振興局長）より、関係各所立会いのもと、矢澤町長へ表彰状が伝達されました。

本田会長は、「町民の皆様と三島町交通対策協議会並びに関係団体の皆様が一体となって、交通安全への意識を高め、保育所や小学校での交通安全教室の実施や、防災無線を活用した交通安全啓発活動など、交通事故防止の取組に力を尽くしてこられた成果であり、その熱意とこれまでの御苦勞に深く敬意を表します。」と述べました。



▲会津地方交通対策協議会本田伸雄会長（右）から表彰を受ける矢澤町長（左）

一人ひとりの防火意識の賜物 無火災から2年 町に無火災表彰を報告

町は、令和3年5月10日に発生した建物火災を最後に火災の発生は無く、無火災2年を迎え、会津坂下消防署三島出張所が無火災表彰を授賞しました。5月12日に、会津坂下消防署の細堀高正署長と会津坂下消防署三島出張所の青柳誠所長より、三島町消防団の五十嵐健二団長が立会いのもと、町へ受賞の報告がありました。

青柳所長は、「一昨年の5月10日以降の2年間、コロナ禍の中、可能な限り、消防団の方の防火パレードや夜警巡回など様々な広報活動が、三島町全町民の心に届き、高い防火意識につながった結果であると考えます。これからも、町、消防団、消防署が丸一となって、無火災記録の更新努力を継続していきます。」と述べました。



▲左から、五十嵐健二団長、矢澤町長、会津坂下消防署三島出張所青柳誠所長、会津坂下消防署細堀高正署長

ご寄附ありがとうございます

▶左から矢澤町長、佐久間建設工業(株)佐久間源一郎会長、佐藤岩男社長



佐久間建設工業(株)が町と赤十字社に寄附
5月19日に佐久間源一郎会長と佐藤岩男社長が町長室へ訪れ、矢澤町長に手渡されました。
佐久間建設工業(株)から町と赤十字社へ多額の寄附金が贈呈されました。

「子どもの守り本尊」岩倉山頂めざす（5月5日）

本名 与四郎（西方）

鬼子母神例大祭は、5月5日の「こどもの日」に因^{ちな}んで、西方地区の西隆寺と岩倉山本堂で行われました。コロナ感染が日本中に蔓延していたために、これまで開催されませんでしたが、3年ぶりの例大祭となりました。鬼子母神堂は標高 500 m の岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したものとされています。今年是天候に恵まれ、安産や子どもの健やかな成長を願い、町内外から 100 名以上の参拝客が訪れ、お札やお守りを買求める姿が見られました。小さな子は親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われ、険しい山道を登り参拝する習わしが受け継がれています。また、太神楽の一団が鬼子母神例大祭にあわせ、恒例の場所となっている西隆寺境内とふるさとセンターにて来訪しました。大勢の地区住民や近隣町村の参拝者などが、太鼓や笛の音に合わせた軽快な獅子踊りの神楽を見たり聞かために集合しました。テレビがあまり普及していなかった、懐かしい昭和の時代にタイムスリップし、太神楽の心地よいリズムに合わせて曲芸や踊りを楽しんでいました。

「鬼子母神 健やか願い 手を合わす」「太神楽 五穀豊穡 獅子が舞う」



「棚田お田助オーナー」田植え行われる（5月21日）

菅家 壽一（間方）

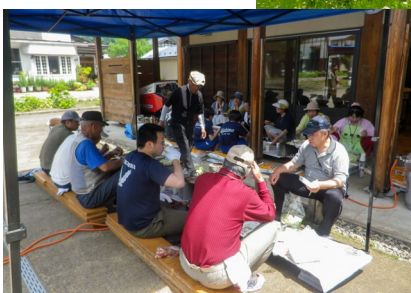
宮ノ前地区において、町内外のお田助隊 12 名が駆け付け、田植えを行いました。今年度から再開されたアカデミー生 3 名も参加し、泥んこびしょ濡れになりながら大奮闘していました。近年、高齢化や採算が合わない等により、耕作されない田んぼが増え、美しかった里山の景観も損なわれてきています。このため、地区内外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていくとともに、自分でつくったお米やマコモダケを美味しく食べていただくとうと実施しているものです。田んぼの角や小さい田んぼに、ヒトメボレとコガネモチ、そしてマコモダケを植えたことで、小さい範囲ですが、今年も美しい景観を見ることができます。感謝、感謝です。田植え後には、お祝いの早苗饗（サナブリ）もささやかに済ませました。寄せ刈りや稲刈りや稲扱きも、多くの方にお田助けいただき実施する予定です。7 月上旬には蜚も見られます。ぜひ観にお出ください。



健康ウォークと懇親会 ～4年ぶりに開催～（5月21日）

小島 純（宮下）

コロナ感染も落ち着きを取り戻し、晴天に恵まれた日に宮下地区と宮下分館主催のもと、健康ウォークと懇親会が開催されました。子どもからお年寄りまで大勢の地区住民が参加しました。宮下活性化センターに集合し、みんなで準備運動をした後、当日発表されたウォーキングコースを確認し、宮下活性化センターを出発しました。それぞれのペースで新緑の中のウォーキングを楽しみながら、参加者の皆さんには、歩きながらのゴミ拾いもお願いしました。ウォーキング終了後には、バーベキュー会が開かれ、参加者の皆さんには、会津地鶏の焼き鳥と焼肉、ビール、ジュース等が振舞われました。久しぶりのウォーキングと再開を喜び、楽しく交流を深めました。



地区民総出による春の人足（4月29日）

本名 与四郎（西方）

西方地区の春の人足は、天候にも恵まれ、午前 8 時 30 分から正午近くまで行われました。14 組の隣組はそれぞれ決められている人足箇所の村道清掃活動と多数の雪による倒木の伐採、撤去作業に汗を流しました。隣組によっては、出役人数が少なく、隣組み同士が協力し合う場面もみられました。今後、ますます高齢化が進み人足を行うことが危ぶまれます。今回も休憩中に、昨年の夏から秋にかけて、イノシシが田んぼや畑に入る被害が多数見られ、困惑していることや子牛ほどの大きさで両角が 40cm ほどもあると思われる立派な雄のニホンカモシカ親子に遭遇した思い出深い話、銭森長者の名残を今でも彷彿とさせる木々に囲まれた場所や由来などを聞くことができました。村中人足を通して、地区の方々の絆や交流の大切さを感じた半日となりました。「人足で タイムスリップ 地区の路」



春一番の人足作業（4月29日）

佐々木 邦雄（桧原）

晴天の中、春の人足作業が朝 6 時より 33 名の参加で行われました。神社境内の冬囲い外しと清掃作業・地区周辺の町道の側溝土砂あげ作業を中心に実施し、新緑の木々を見ながら約 2 時間気持ちの良い汗を流しました。少子高齢化が進む中で、人足も少しずつ減ってきていますが、皆さん元気で作業されていました。また、人足を通じて地区の皆さんのコミュニケーションを図る最高の場所となっています。今年も地区消防班により、土砂あげ後の路面に放水作業を実施していただき、大変きれいになりました。参加された皆さんは爽やかな気持ちで解散となりました。



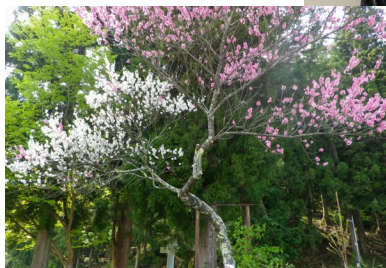
滝原地区の出来事

佐久間 絹江（滝原）

4 月 29 日にボランティアこぶしの会による総会及び国道沿いのゴミ収集が行われました。総会終了後に、国道 252 線宮下方面スノーシェット前待避所までと早戸方面スノーシェット前までを二手に分かれ、ゴミ拾いを行いました。交通量の多くなった昨今ですが、ドライバーのマナーも改善されてきているようで、ゴミの量も目に見えて少なくなりました。昼食会も予定されましたが、コロナ予防対策のため、持ち帰りで解散となりました。

4 月 30 日は、春の人足が行われ、普段地区で生活されてない方も参加し、冬季間で荒れた神社境内、農道、山道等を清掃整備しました。終了後は、労いの席を設け、親睦を深めました。

駒形神社前の花桃が満開となった 5 月 6 日には、例年より早く再始動した滝原グランドゴルフクラブの練習が始まり、笑顔いっぱいでも爽やかな汗を流していました。



三島町配食サービスのご紹介

高齢や障害などにより食事の調整が困難な町民の方が、これからも住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、栄養バランスの取れた食事の提供を行うとともに、食事の配達を通じて安否確認を行います。該当する方やご家族がいらっしゃる方は、ぜひご利用ください。

利用できる人

三島町に住む方で、
①概ね65歳以上の
・一人暮らし高齢者
・高齢者のみの世帯



②障害により食事の調整が困難な方
③その他町長が適当と認めた方

サービス提供日

夕食分として、
月曜日から金曜日の毎回17時頃に配達
※ご希望により、週1回利用可能です。
※基本的には曜日指定となります。
※12月29日～1月3日は配達はありません。

提供店

SampSon
(サンブソン)
中野屋など



自己負担

1回につき500円
※請求はひと月ごと合算した額になります。



お問合せ・お申込み先
三島町地域包括支援センター ☎ (48) 5045

東北電力からのおねがい

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため、各所に注意札を立てております。
水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので、河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されますようお願いいたします。

次のときにスピーカーをならします

①ダムから初めて水を流す約 10 分前
②発電所から初めて水を流す約 10 分前
③発電所の出力を増やし水を多く流すとき
(放送内容)
「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐに上がってください。」
※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っております。

次のときにサイレンをならします

①ダムの流量が毎秒 1,000m³に達したとき
②ダムの流量が毎秒 2,000m³ (洪水量) に達したとき
③ダムの流量が洪水量オーバー後毎秒 1,000 m³増加毎
(警報内容)
サイレン 10 秒 休み 50 秒
サイレン 10 秒 休み 50 秒
サイレン 50 秒

《河川への不法投棄はやめましょう!!》

<問い合わせ> 東北電力株式会社 水力運用センター TEL0242 (26) 6862
只見側ダム管理所 TEL0241 (52) 3422

阿賀野川水系ダムの状況を当社 HP から閲覧できます。

東北電力 HP — 発電・環境・エネルギー — 阿賀野川水系ダム情報



地域おこし協力隊 活動誌

イベント盛りだくさん

山本 敬晴

私が協力隊となつて2年間、様々な行事がコロナ禍により中止もしくは縮小しての開催となっていました。今年に入つて例年どおりに再開され、町内も活気づいている様に思えます。

先月は、「桐の里ウォーク」への参加や「鬼子母神例大祭」を見に行く等、私的に町内イベントを楽しんでおりましたが、活動としても興味深いイベントに携わっております。連休中に実施した「三島小学校向かい菜の花畑のライトアップ」では、災害時などの非常用電源モデルとして、電気自動車(EV)を使った電力供給の試みに協力したことで、いろいろと学ぶこともできました。また、新聞記事にて地域の方々が手掛けている観光資源にスポットライトが当たったことはとてもうれしく、イベントに協力して良かったと感じています。



さて、今月は4年振りに開催される町最大の行事「ふるさと会津工人まつり」が10日・11日に控えています。その前週には「志津倉山開き」、24日には「星空ヨガ」と、イベント盛りだくさんの状況です。担当課である地域政策課も大忙しの予感で、少し不安もありますが、それ以上に楽しみでもありますし、ご来場の皆さまに少しでも満足いただけるよう、イベントスタッフとしても精進したいと思っています。

工芸館だより ②5 ものづくりの伝承

生活工芸アカデミーの様子

- 講座「三島の歴史」 -

5月16日、工人の館にて「三島の歴史」講座を実施しました。当日は定員いっぱいの20名の方にご参加をいただきありがとうございました。当日は縄文時代から近現代までの町の変遷の解説や参加された方の地区の事柄について触れながら、あっという間の2時間でした。



生活工芸アカデミーでは町民の皆さまにもご参加頂ける「町民アカデミー講座」を実施しています。お知らせ版等で募集をいたしますので、皆様もご参加ください。

☎三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

- クルミ皮採取 -



クルミ皮採取の様子

4月26日に開講式を迎えた生活工芸アカデミーの最初の活動はクルミ採取です。毎年ゴールデンウィークの連休前からが適切な採取時期(皮のむけ具合を要確認)です。採取場所への道すがら各地区の名前を確認しながら移動します。

受講生たちは採取の方法を聴きながら先生の一举手一投足を見逃さないよう写真に収めていました。採取後は材料の乾燥、管理を行いながら、既に使える材を使ってクルミ細工の制作がスタートしています。

前回に引き続き、昭和初期に書かれたと推察される宮下小学校の『郷土誌』から当時の婚礼習俗について紹介します。

まず媒介人が両家の血統・家庭・人物等を考慮し、家族や本人の意志を酌んで、縁談を整えます。「今時」として「見合ヒ」が挙げられているのが時代を感じさせます。婚姻の結び方として遣方、貰方で一つの酒を飲み合う「定メ酒」（口割り酒）「酒買ヒ」、結納式として遣方から貰方に納められた衣裳を近隣を招き展示する「衣裳納メ」が紹介されています。

婚礼当日は遣方の花嫁（花嫁）が持参する単笥等を遣方の「長持昇ギ」が長持歌を謡いながら担いで花嫁（花嫁）とともに行列をなし、貰方の「長持昇ギ」へと渡す「受取渡」を行ったあと、夕方から夜にかけて到着します。婚礼については、前編で紹介したものとあまり変わりませんで略します。また現在は、婚礼が「本式」より「略式」が用いられることが多いとしています。

（三島町史編さん室）

※引用文は旧字体を新字体にあらためたほか、句読点をつけ、また難読字にはルビを振っています。

町史編さん室だより

第89回 『郷土誌』に記された
大正・昭和初期の婚礼（後編）

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。
☎（52）2165

昔ハ婚禮頗ル鄭重厳格ニ行ヒタルモ、漸次其ノ次第ヲ省略シテ今ハ頗ル簡單ニナレリ。今其ノ儀式中ノ主ナル事項ヲ記述セバ、媒介人先ツ良縁ト思フ子女ヲ見出し、之ヲ双方ノ家ニ諮ル。是ニ於テ両家ハ互ニ相手方ノ血統、家庭ノ状況及ビ本人ノ人物等ヲ調べタル上、親戚家族及ビ本人ノ意志ヲ参酌シテ諾否ヲ決ス（今時本人ノ意志ヲ決スルマデニ見合ヒナドラ行フ風モアリ）。双方ノ意志一致シテ縁談整ヘバ、仲人ハ酒ヲ持参シ遣方ノ家ニ至リテ家主ニ酒ヲ薦ム。其ノ酒ヲ少シ残シテ更ニ貰ヒ方ノ家ニ持参シ其ノ戸主父母ニ飲マシム。之ヲ定メ酒トイヒ又口割り酒トモ云フ。又ハ之ヲ酒買ヒトモ云フ。茶オサメト云フ所モアリ。仲人ハ双方ノ間ヲ往来シテ貰ヒ方ヨリ遣り方ニ納ムル衣類其ノ他ノモノヲ持参スル日ヲ定ム。之ヲ日定メトイヒ、衣類ヲ持参スルヲ衣裳納メトイフ。此日仲人ハ供ヲ連れ酒其ノ他ノ品物ヲ負ハセ遣方ニ至リテ衣裳ヲ納ムルナリ。遣り方ハ客待チヲナシ、近隣ヲ招キ、納メモノヲ展覧ス、蓋シ結納式ナリ。ツイテ仲人ハ婚礼ノ日ヲ定メ、日定ハ媒介人其ノ前日ニ於テ双方ノ家ヲ訪ヒ、婚礼当日ニ至リテ手違ヒ等ノナキ様取計フ。此時貰方ヨリ遣方ニ親類目録、見参目録等ヲ仲人ニ托シテ呈ス。ヤガテ婚礼当日ニ至レバ双方共ニ饗宴ノ準備ニ忙シ。貰方ハ花嫁（又ハ花嫁）ヲ迎ヘニ行クナリ。遣方ハトテ村ノ若者ヲ頼ムナリ。長持昇ギハ長持歌ヲ歌ヒナガシ其ノ家ヲ出テ、途中ニテ貰ヒ方ヨリ来リ迎ヘノ長持昇ヲ待ツ（貰ヒ方先キ来タリ待ツヲ礼トス）。サレバ途中ニテ此長持昇ギシテ貰方ヨリ来リ花嫁（又ハ花嫁）ノ行列ト相会フ、直ニ客ヲモテナス。準備ニ取掛リ大ニ饗ス、コノ饗宴ヲ受取渡ト称ス。貰方ハ花嫁（又ハ花嫁）ヲ迎ヘツレテ長持昇ギ等ト行列ヲナシ、夕方又ハ夜ニ入リテ帰着ス。其ノ時、花嫁ノ時、笠ハズシノ儀アリ。入リテ坐シ茶菓ヲ饗セラル。ソレヨリ結びノ式、座ニ着ク。此ノ座ニハ仲人夫婦花嫁花嫁及ビ式典ヲ行フ人々座スナク式場ノ床ノ間ニハ蓬萊山其他ノ目出度掛物ヲ掛ケテ裝飾シ、座ノ中央ニハ島台ヲ置キ、三々九度ノ式トテ花嫁花嫁ノ間ニ盃ノ取替ヲナサシム。此間数番ノ小謡アリ。花嫁ニ酒ヲツグハ幼男、花婿ニ酒ヲツグハ幼女ニシテ、銚子ニハ雄蝶雌蝶ヲ附シ、盃ハ素焼ノ土盃ヲ用フナレ共、今ハ漆器ヲ用フ。其ノ饗ニハ本式ト略式トアリテ現今多クハ略式ヲ用ヘリ。

vol.80

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎48-5565

✿✿✿✿✿✿✿✿

メタボリックシンドロームとは、内臓肥満に脂質代謝異常、高血圧、高血糖が組み合わさったことにより、心筋梗塞や脳梗塞になりやすい病態のことを指します。

メタボリックシンドロームの判断基準は下の表のとおりです。

ウエスト周囲径 男性 85cm以上 女性 90cm以上 ※内臓脂肪面積 100cm ² 以上相当	3つのうち2項目以上	高脂血	高トリグリセライド血症：トリグリセライド（中性脂肪）150mg/dl 以上 かつ／または 低 HDL コレステロール血症：HDL コレステロール 40mg/dl 未満
		高血圧	収縮期血圧 130mm Hg 以上 かつ／または 拡張期血圧 85mm Hg 以上
		高血糖	空腹時血糖 110mg/dl 以上

出典）厚生労働省 eヘルスネット

内臓脂肪の蓄積で、分泌される悪い物質（悪玉サイトカイン）が増えて、血管の炎症や血栓を作りやすい状態になります。また、動脈硬化を抑えるよい物質（一酸化窒素）が減少して、動脈硬化が進みやすくなります。動脈硬化などが進むと心筋梗塞や脳梗塞の発症のリスクが高まります。さらに、インスリンが効きにくい状態となり、糖尿病発症のリスクも高まります。

内臓脂肪の蓄積は体にとって良くないことばかり。そんな内臓脂肪の蓄積を発見できるのが、特定健診です。

6月23日㊟、25日㊟、26日㊟は町の総合健診です。年に1回は健診を受け、ご自身の体の状態を把握しましょう。

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

●利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時

●お休み
年末年始

●公民館 ☎（48）5599

●今月のおすすめ

個人的な体験

著：大江健三郎

狂気の淵に瀕した現代人に、再生の希望はあるのか？暗澹たる地獄廻りの果てに自らの運命を引き受けるに至った青年の魂の遍歴を描破して、大江文学の新展開を告知した記念碑的な書下ろし長編。

●図書の紹介

ちいかわ
まちがいさがし

著：ナガノ

不確かな壁 街と

著：村上春樹

汝、星のごとく

著：風良ゆう



三島町のみなさまこんにちは。先月に引き続き、脱炭素社会への実現に向けた身近な取り組みとして、環境省で紹介している「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の特集についてご紹介します。

環境省では 2050 年カーボンニュートラル及び 2030 年度削減目標の実現に向けて、国民のライフスタイル変革を後押しするための新しい国民運動を展開しており、今回はその中の「地域独自の暮らし方で後押し」の項目から、全国の各地域が行っている脱炭素につながる取り組みを見ていきたいと思います。

〇寒冷地の札幌における脱炭素な暮らしの提案【札幌市】

北海道札幌市は、住宅で使用する暖房によるエネルギーの使用量が多く、その暖房器具も CO2 排出量の多い灯油式暖房・給湯機器を使う家庭が多いそうです。これは寒冷地特有の課題とも言えます。

そこで地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した、灯油式から CO2 排出量の少ない電気・ガス式暖房・給湯機器へ切り替える際の費用を一部補助する、補助金制度を創設しました。さらに、この補助制度を活用した住民の方をモニターとして、灯油式から切り替えた際の快適性や光熱費の削減効果をどう感じているかのアンケートに回答してもらい、その結果を多くの方に知ってもらうことで、啓発につなげているそうです。

灯油から電気の暖房に切り替えても問題ないのだろうか、と疑問に感じる人が多い中で、こうして実際に利用した方の感想や削減効果を知ることができると自分もやってみよう、という気持ちになりますね。

〇避難拠点としての役割を持つ廃校利活用施設【合同会社 WOULD】

こちらは千葉県の南房総で行っている取り組みで、廃校に太陽光パネル、蓄電池、排水循環システムを整備し、日本初の再生エネルギーのみを利用した無送電線の施設です。

校舎は宿泊施設やレストラン、ワーケーションができるスペースやシェアオフィス等、様々な用途で

活用できる施設になっています。また平時は宿泊施設として運用し、災害時には備えた設備をフル活用して被災者や地元住民への支援を行う防災拠点として運用が可能だそうです。そのほかにも、余剰分の再生エネルギーを電気自動車や植物工場の設備に利用する計画を立てているようで、南房総の立地を生かしながら、「宿泊」「教育」「観光」「防災」の 4 つの要素を生み出し、収益性を出す施設として地域活性化を図っているとのこと。

廃校を利用した宿泊施設としては、三島町にも「森の校舎カタクリ」があります。宿泊施設のほかに防災拠点であったり、オフィス施設であったり、複合的な目的で活用するのも新たな方法のひとつかもしれません。



※廃校を利用した「シラハマ校舎」
https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/detail/region/14.html

Part1 となる今回は二つの地域の取り組みをご紹介しました。寒冷地であったり、廃校の再利用であったりと三島町にも通じる部分がありそうです。引き続き様々な地域の取り組みをご紹介していきますので、三島町の環境や文化に合った脱炭素につながる新しい暮らし方のヒントの発見につながればと思います。

〈筆者〉常盤 達彦（ときわ たつひこ）

先日の桐の里ウォーキングに国環研の研究者さん 3 人を連れて参加させていただきました！久しぶりの三島町の景色を楽しみつつ、普段歩く機会が少ないので良い運動になりました。

〓 国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

5 月 3 日～ 5 月 14 日の間、「三島小学校向かい菜の花畑」にてライトアップを実施しましたが、その電力供給に一役買ったのが電気自動車（EV）。非常用電源モデルの試みとしても実施しておりますので、今回、この規模では、どのくらいの電力が消費され、電気自動車がどのくらいの電力を供給できるのか、それらの内容を本コラムにてまとめたいと思います。

◆ 菜の花畑ライトアップについて

ライトアップした菜の花畑の面積は、約 150 m×約 25m。今回は線路沿いに出力 100W の投光器を横に 20 台並べ、国道 252 号に向かって照らすことで十分な明るさを確保しました。このライトアップに必要な電力（出力）が合計 2 kW=2,000W（100W×20 台）、1 日 3 時間（18 時～ 21 時）点灯するためには、6 kWh（2 kW×3 時間）の電力量が必要になります。ただし、配線延長による電力損失があるため、実際の電力消費は 1 日あたり約 8 kWh となっていました。



◆ 電気自動車の電力供給について



今回、40kwh のバッテリー容量を有した EV（日産リーフ）を使用。EV に蓄えられている電力を取り出す機器「パワー・ムーバー（出力合計 4.5kW）」を接続し、そこから投光器に電力を供給する構成としました。この構成であれば、今回の菜の花畑の電力消費量（1 日あたり 8 kWh）だと、フル充電している状態から無充電で約 5 日間は利用できる計算となります。また、同じ投光器であれば 15 台は（電力損失を考慮しても）追加接続が可能です。

ちなみにですが、一般家庭の 1 日の平均消費電力量が 10～15kwh とされているので、フル充電している状態であれば約 3 日間ぐらひは非常用電源として使えることができ、災害時に心強い存在です。

◆ 電気使用料金について

当事業における電気使用料についても試算してみました。なお、令和 5 年 5 月時点で筆者が契約しているプランを基に試算しています。契約によって金額が異なりますので、あくまでも参考程度に。

まず、1 kWh あたりの使用電力量単価が約 30 円、これに燃料費調整額（2.64 円 / kWh）と再エネ発電賦課金（1.40 円 / kWh）が加わり、1 kWh あたりの実質単価は約 34 円になります。今回の事業では 1 日に約 8 kWh を使用し、実施した日数が 8 日間ですので、

34（円）× 8（kWh）× 8（日）＝ **2,176 円** となりました。

ちなみに、今回の構成を発電機 1 台（5.0KVA）で実装する場合、ガソリン 24L で連続稼働時間が 9 時間、8 日間のライトアップ時間を稼働させるには、64L が必要になります。ガソリン価格が 160 円 / L で換算すると **10,240 円**の電気料金となります。今回のライトアップのような場合だと、機材さえ揃っていれば、EV を使用した方が安価に実施できると言えます。お車の買い替えの際は、災害対策などを踏まえ、EV も選択肢の一つに加えていただけると幸いです。

【 地域おこし協力隊 やまもとたかはる 山本敬晴 】

愛 ばんしょ 外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島
通信で健康教室を放送中です。
6月のテーマは「宮下病院感
染対策室からのお願い」です。
ぜひご覧ください。



☎ 福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町 からお知らせ

ご寄附ありがとうございました（4月分）
ふるさと納税
寄附数 29 件 計 227,000 円

6月分納税のご案内

【納期限 6月30日金】

▼ 町県民税（普通徴収）（第1期）

忘れずに納付してください。

☎ 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

🌸 お悔み申し上げます

小 松 サト子 様 (91才・西 方)

町の人口と世帯（5月1日現在）					
人口	1,395	増 減 数	6	出生	0
男	708		0	死亡	1
女	687		6	転入	14
世帯	693		2	転出	7

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比
較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出
のあった人数です。

社 会 福 祉 協 議 会 よ り

大石田友遊サロン	高清水・小山いきいき サロン
6月5日月 午前10時から 大石田集会所	6月16日金 午前10時から 高清水集会所
桧原はつつクラブ	間方いきいきクラブ
6月6日火 午前10時から 桧原集会所	6月19日月 午前10時から 間方集会所
7月7日金 社会見学	滝谷和楽塾
川井友愛サロン	6月20日火 午前10時から 滝谷集会所
6月12日月 午前10時から 川井集会所	ほがらかサロン
7月5日水 社会見学	6月25日金 午前10時から 森の校舎カタクリ
ひまわりサロン	サロンないり
6月12日月 午前10時から 町民センター	6月26日月 午前10時から 名入集会所
大登サロン	浅岐あったかサロン
6月12日月 午後1時30分から 大登生活改善センター	7月5日水 社会見学
サロンなごみ	
6月15日木 午前10時から 西方ふるさとセンター	
6月30日金 社会見学	



◆社協会長杯グラウンドゴルフ大会◆

6月30日金 町営グラウンド
午前8時30分 集合／午前9時 競技開始

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

大 竹 昇 様（滝 谷）

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

消 防 署 か ら の お 知 ら せ

令和5年度
「危険物安全週間」
の実施について

意志つなぐ 連携プレーで事故防ぐ

【期間】令和5年6月4日金～6月10日土までの7日間

危険物とは… ①火災発生の危険性が大きいもの
②火災拡大の危険性が大きいもの
③消火の困難性が高いもの

ガソリン、灯油、軽油などの危険物を
正しく保管・取扱いし事故を未然に防ぎましょう！

まだ暑さに身体が慣れていないこの季節は熱
中症に注意しましょう！めまい、吐き気、頭痛、
筋肉の痙攣は熱中症の症状です！症状が現れた
ら、ためらわず救急車を呼んで
ください！こまめな水分補給や
涼しい場所での作業を心がけ熱
中症対策に努めましょう！

☎ 会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032／FAX (52) 3033

訂正のお知らせとお詫び

広報みしま5月号の記載内容に誤りがございました。
お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いた
します。

【訂正箇所】
広報みしま5月号（P6：まちの話題）
三島小学校少年消防団並びに三島保育所幼年消防ク
ラブ団結式
●写真（左）キャプション中
（誤）五十嵐柚月さん（小6／宮下）
（正）五十嵐悠月さん（小5／宮下）

☎ 地域政策課地域政策係 ☎ (48) 5533

会津坂下警察署からののお知らせ

それって詐欺かも！
インターネットの使い方に注意！

パソコンやスマートフォンが普及したことによって、
インターネットは私たちの生活になくてはならない存在
になりつつあります。
仕事や買い物にと便利なインターネットですが、気を
つけなければインターネットを利用した詐欺の被害に
あってしまう可能性があることを忘れてはいけません！！

インターネットを使った詐欺の一例

- フィッシング詐欺…金融機関や有名企業を装って
「アカウントの更新のため」や「高額当選金の振
り込みのため」などの題名で、偽サイトへのリン
ク付きの電子メールを送り、リンク先に入力され
た個人情報や口座情報を入手する詐欺。SNS アカ
ウントの乗っ取りや、不正送金の被害に遭う可能
性があります。
- ☆対策方法…メールに添付されたリンクを不用意に
クリックしない。セキュリティソフトの導入。
- サポート詐欺…ウェブサイトを閲覧中に、突然「セ
キュリティ警告」や「登録完了、年会費〇万円」
等を画面に表示させ利用者の不安を煽り、パソコ
ンを遠隔操作するソフトウェアをインストールさせたり、サポート終了の手続きとして電子マネー
を請求する詐欺。パソコンのウィルス感染や高額
な電子マネーを請求される可能性があります。
- ☆対策方法…警告画面等に表示された電話番号に電
話しない。ブラウザをすぐに閉じること。

自然に潜む危険…登山の注意事項

- ①一人では登らない
万が一の負傷や滑落事故に備え、家族や友人と一緒に
登ること。
- ②登山計画書の作成
登山の開始時間・下山時間・コース・装備品・メンバー
等をまとめた登山計画書を作成し、家族や 職場に提
出すること。
- ③野生動物への対策
ホイッスルや熊鈴を装備して遭遇を未然に防ぐほか、
遭遇してしまった場合には、静かにゆっくりその場を
離れること。

☎ 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242（83）3451

日時

2023 年 6 月 24 日 (土)

15:00 開場～ 21:00 閉場

※キャンプ受付は 13:00 ～

開場

美坂高原 福島県三島町

※雨天時は三島町交流センター山びこ

美坂高原利活用イベント実行委員会事務局

(三島町地域政策課内)

TEL 0241-48-5533

FAX 0241-48-5544

MAIL seisaku@town.mishima.fukushima.jp

ミサカノヨゾラ
星空ヨガ

入場無料
FREE

美しい星空と優しい自分に出会える夜

星空ヨガ (参加費無料)

ヨガ講師

charis.yoga saki 先生



持ち物

ヨガマット・タオル・飲み物・羽織るもの
※ヨガマットの無料貸し出しあり (要予約)

マルシェ

地元三島町や奥会津地域、県内の
おいしいグルメや加工品が大集合！
福島日産自動車(株)による電気自
動車展示会+電力供給も実施します！

キッチン MORy / SampSon / 会
津地鶏みしまや / 時任養蜂園 / 秘
境珈琲 / (株) 一十八日 / 工房あ
かるむ / 木工房 MEGURO / 三島
町観光協会 / 金山町観光物産協会

アロマワークショップ

(株) 一十八日とのコラボレーション企画

参加費 2,500 円 (事前予約 / 2 部制 各回先着 60 名)

※お得なミサカノヨゾラセット付き！
(会津地鶏カレー・ヘルシーサラダ・桐の里倶楽部無料入湯券)

申込方法 <締切 6 月 15 日Ⓢ>

星空ヨガ公式 LINE よりお申込みください。

ID「@ 881rzdok」で検索 or QR コードからお友達登録！



キャンプサイト (事前予約制)

キャンプ 1 張 1,000 円 / デイキャンプ 1 張 500 円

イベント特典：会津地鶏 BBQ セットを特別価格で販売！

通常価格 4,600 円⇒特別価格 3,160 円

申込方法 <締切 6 月 15 日Ⓢ>

氏名・住所・電話番号・利用人数・会津地鶏 BBQ セット購
入の有無をお問合せ先へ電話・FAX・メールいずれかにより
お申込みください。